

新春に願う、ふるさとの未来 尾畠酒造5代目蔵元・尾畠留美子氏(下)

これまでの試練や今後の取り組みを語る尾畠酒造5代目蔵元の尾畠留美子氏　＝佐渡市西三川



四庫全書

「28年の抱負は世界と直
接つながることだ」という
最近、興味があるのはフ
アミリービジネスとか老舗
企業。日本には創業から1
00年を超える老舗が2万
社以上は多分あるはず。な

地方の世界と直接つながる

ムでも大ヒットでもなく、ロングセラー。100年後を考えればおのずと選ぶ道が決まってきたから、長い目でつないでいきたい。取り組みみたいテーマは、

もう一つは地方での起業。佐渡ならではの事業を興し「佐渡は好きだけど仕事がないので帰れない」という若者が働けるようになるといい。それは何だろう。島の若い人たち、この島と関わりたいと思っている人たちと一緒に考えていきたい。

東京がゴールではないと気付く

活に不満はなかった。時代にも仕事にも、上司にも同僚にも大変恵まれていた。ただ、何かつくりものだなどという感覚はあつた気もする。東京を離れることがへの未練は当時、これっぽっちもなくて、自信満々で佐渡に帰ってきたわけですが、それから5年間は未練たらたらで東京に戻り

『勤めていた映画会社を平成7年に退社し、東京から佐渡に戻った。跡を継いでいた姉夫婦が尾畠酒造を辞めたことで、幼い頃に遊んだ仕込み蔵がどうなるのか心配になつたからだ』
寝ても覚めても頭から離れなくなった。そんなに気になるのだから自分でやつたほうがいいやと。私が戻ることを誰も期待していなかつたので、戻らなきやいけない立場でもなかつたのですけど。

目指したいのはロングセラー

映画業界は数ヶ月単位で
映画の仕込みがあつたので、今日言つたことは明日
には決まるくらいスピード一
イに過ぎていつたが、お
酒業界は1年単位でモノが
動く。いい悪いではなく、
時間の流れが違う。人間関
係の構築、仕事の進め方も
都会と田舎では全く違う。
映画業界は刺激もあつたし

国や香港、シンガポール、アラブ首長国連邦（UAE）のドバイなど14カ国15地域に広がっている）
蔵全体の出荷量は年間210キロリットルあり、このうち輸出の割合はまだ5%。英語でホームページを立ち上げた当年に比べ、日本酒に興味を持った海外の人が日本に来ることが増えた。いま歩くいろいろな次のつらうる国

A photograph showing a group of elderly people in a classroom or lecture hall. They are all raising their right hands, likely to participate in a discussion or answer a question. The room has large windows on the back wall, and the people are seated in rows, facing towards the front where the teacher would be standing.

だつたら、やればいい。不満があるときどうしたらいいかというと、社会を変えるか、会社を変えるか、自分を変える。この3つの方法があつたとき、自分を変えるのは、すぐできる。

華やかで良かつたなと思いま
すが、でも今は酒業界も
負けないくらいおもしろい
業界だなど、満足していま
す。田舎は定年になつたか
らといって人間関係がガラ
ツと変わるものでもない。
そういう良さを感じるよう
になつた。

「海外に輸出を始めたの
がつま。いまのところは大

Niigata 世界

学校蔵の 特別授業

昨年11月24日に出版された尾畠留美子氏の著書「学校蔵の特別授業」（日経BP社 税別1600円）は、写真IIの副題は「佐渡から考える島国ニッポンの未来」。日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏、人材育成・コンサルティングを手掛けるOLBOP（ボルボップ）現会長の酒井穰氏、東京大社会科学研究所教授の玄田有史氏と尾畠氏が対談する形式で、酒蔵として再生された廃校

產經
新聞

新潟

新潟支局
〒950-0965 新潟市中央区新光町5-1千歳ビル
025・285・2121
FAX 025・282・2152
niiigata@sankei.co.jp

長野支局
〒380-0826 長野市北石堂町1182
TEL 026・223・1212
FAX 026・291・5318
nagano@sankei.co.jp

◎ 甲府支局
〒400-0858 甲府市相生1-2-14
☎ 055・222・8808(代)
FAX 055・220・6376
kofu@sankei.co.jp

購読申し込み
□ 0120・70・3034
配達集金
□ 0120・34・4646
紙面・記事
☎ 03・3275・8864
Web
<http://www.sankei.com/region/region.html>

■おばた・るみこ 尾畠酒造専務、5代目蔵元。昭和40年、佐渡島の旧真野町（現佐渡市）で尾畠酒造の次女として生まれる。佐渡高 慶心大法卒。日本ヘラルド映画（当時）に入社し宣伝プロデューサーとして「氷の微笑」「レオン」などを手掛ける。平成7年、酒蔵を継ぐため佐渡島に戻った。尾畠酒造は明治25（1892）年の創業で、主力製品は地酒の「真野鶴」。